



室蘭工業大学 同窓会 東海支部報



平成 17 年 12 月 23 日
故郷を思い出す大雪が降りました
520 名の会員が元気に活躍しております

東海支部 同窓会だより

謹告：

この会報の内容は、個人情報保護の観点から、
会員間の親睦以外の使用・引用を禁止します。

お知らせ

平成 18 年 3 月号

総会予告

今年、総会と懇親会開催の年です。サッポロビール名古屋ビール園「浩養園」で実施します。
会員各位には開催時期近くになりましたら詳細をご連絡いたします。

開催日時：平成 18 年 6 月 11 日（日）

総会：14：30～

懇親会：16：30～18：30

なお、住所の変更や新たに転居されてきた方は、同窓会本部や近くの幹事に連絡をください。

平成18年新年交礼会

恒例の新年交礼会が、愛知県大府駅前の「みかど」において、平成 18 年 1 月 22 日に開催されました。
出席者 18 名は、酒宴で和気あいあいのうちに旧交を温めました。

会長の挨拶では、昨年の東海地区の「元気のもと」を振り返り、本年は、「オープン&コミットメント」を
キーワードとして同窓会運営を推進するとの表明がありました。

【今月の東海支部報も、飲んでる写真ばかりです。】



みかどにて





利き酒大会



写真は拡大して
ごらん下さい

恒例 北斗の光

寮歌エール



会員各位殿

2006年の新年を迎えるにあたって

2006年1月22日

室蘭工業大学同窓会東海支部 支部長 井下輝昭

皆さん新年おめでとう御座居ます。

昨年はラグーナ蒲郡に於ける懇親会を盛大に執り行う事が出来、ご参加会員の皆さんには大変深謝致します。今年は支部総会の年ですので魅力ある企画を考えておりますので是非ご参加のほどをお願い致します。同窓会には女性陣がおりますので更に新基軸を織り込んだ企画と運営の妙を打ち立てたいものと考えております。今年も基本的な考え方を“オープン&コミットメント”として推進致しますので宜しくお願いを申し上げます。

経済面：さて、ここで少し世の中を取り巻く経済面など昨年の状況を顧みますと、中部国際空港セントレア開港に始まり愛・地球博（愛知万博）で締めくくられたと言っても過言では有りません。また、災害の多い年でした。国内では台風・豪雨・豪雪災害、鉄道事故などで、国外では米国東南部のハリケーン災害（カトリナ、リタ、スタン）、パキスタン北部の地震災害などが有りました。一方、あらゆる分野で女性が活躍した時代でも有りました。

中部国際空港は1966年から20年かけて造られ2月に開港しました。立上げ時は国内24都市、海外28都市を結ぶハブ空港となりました。更に追加が計画されています。空港への来港者は11月時1500万人を突破したそうです。中部の経済の底力になったことは言うまでも有りません。

皆さんは、セントレアのオリジナルキャラクターとして“なぞの旅人WHO”の11人衆をご存知ですか…。一方、3月25日から“自然の叡知”をテーマにした愛・地球博（愛知万博）が始まり185日にわたり来場者に夢と感動を与え9月25日無事成功裏に閉幕しました。

1970年大阪万博の1500万人を上回り2500万人以上と言われる来場者で賑わいました。このうち40%がリピーターとのことです。万博の経済波及効果は7兆7000億円とも言われ、大阪万博（1970年）、つくば万博（1985年）を上回ったそうです。ちなみに万博効果で名古屋市内主要百貨店の9月売上高は9.8%増、東海各地の産業観光施設では22%増と言われております。

東海3県の効果は1兆2822億円とのことです。更に万博に間に合わせるように国家的プロジェクトも建設されました。名古屋臨海高速鉄道（あおなみ線）の開通、東海環状道路建設、東海北陸自動車道との連結、第二東名高速道路建設と伊勢湾岸道との連結など目白押しに交通網が完成しました。

愛知万博の志は次の“サラゴ万博”（2008年、スペイン）、“上海万博”（2010年、中国）へと受け継がれます。更に志は各種のイベントに受け継がれ、例えば2006年から3年かけて実施される“名古屋メッセ”と称する大規模な見本市の開催が提案されているようです（テーマ：環境・省エネ、育児・学習、健康）。自然に返した万博跡地は“知の拠点”科学技術交流センター（ナノテク、バイオ、IT技術）が設置される予定です。

また、万博跡地は愛・地球博記念公園として、愛称“モリコロパーク”とすることも決定しているようです。

今年の“中部財界新春サロン”でもポスト空港・万博に関する課題について所感を述べられております。今年、中部経済産業局長の着任が予定されている佐藤樹一郎氏によるとGNI運動の推進即ち“グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ”（産・学・官一体組織）の更なる強化を2月設立に向けて期待されているようです。

万博後、万博とは別であるが国内の他の大きなイベントも盛況でした。例えば、10月4日千葉幕張メッセで電機・情報技術（IT）の国際見本市“CEATEC-JAPAN 2005”が開催され薄型テレビ、次世代DVD

の標準規格の競争となっているブルーレイディスク（BD）とHD-DVDの両陣営が注目されます。10月22日千葉幕張メッセでの“東京モーターショー”開催も盛況でありました。世界各国から自動車メーカーなど239社、車台数571台の出展があり、燃料電池自動車など先端技術を駆使した未来カー、環境・安全をテーマにしたコンセプトカーなどが注目されました。

10月19日ポートメッセなごやに於いて開催された名古屋国際見本市、“第10回メカトロテックジャパン (MECT 2005)”では、設備投資意欲が極めて旺盛であり、ファクトリーオートメーションをコンセプトにバブル期以来の好況の自動車産業を中心とする機械産業、電子・電機、半導体、航空機など幅広いユーザーのけん引によって飾られ、日本国際工作機械見本市“JIMTOF”に次で盛況でした。総出展社数429社・団体、過去最大級の規模であったことは経済を反映していると思われます。（JIMTOF、今年11月東京ビッグサイトで開催予定）

国内全般の景気状況について幾つかの指標でみると、2005年前半は“踊り場”を脱却しつつも“緩やかな回復”基調を続け、後半は脱デフレに向けて回復持続で進んでいる状況とされています。中部地区は改善基調ともされています。

内閣府発表の2005年2月の機械受注に関しては、伸び4.9%で好調。財務省によると4～6月の設備投資は7.3%増。とり分け中部経済産業局の発表では自動車向けが好調だった5月の中部5県の金属工作機械受注額は33ヶ月連続で前年超、9月は36ヶ月1.2%連続増の428億44600万円とされています。東海の主要工作機械メーカー6社では国内の旺盛な設備投資を背景に増収増益と発表されています。

一方、総務省によると10月の失業率は4.5%であり3ヶ月振りで0.3ポイントの悪化でしたが、これはよりよい職種へ就こうと云う職探しを始めた傾向であり心配は少ないようです。

10月1日現在、就職内定率は、大学生が65.8%、4.5ポイント上昇。高校生は44%となりまずまずで、景気回復を反映しているようであるとのことでした。

UFJの短観によると前半は空港・万博開業などの影響もあって東海地方の人手不足は深刻な状態でした。自動車メーカーT社では“団塊の世代の穴埋め”を見込んで、2005年度の採用は2004年度の13.7%増でバブル期以来の水準とされています。“9月の東海の有効求人倍率は1.43倍で全国最高”、愛知は1.68倍、三重は1.46倍、岐阜は1.22倍の発表が有りました。

東京株式市場は米株価高で4年7ヶ月振りの高値となり、デフレ脱却の期待も反映して“一時期1万6400円台”を回復しました。

“銀行の大手六行は最高益”1兆4000億円にのびました。内閣府発表のGDPは年率で1.7%成長（7～9月）と4期連続プラスでした。ちなみに、UFJ総研発表では、東海のGDPは2.7%の成長を予測しているようです。中部経済産業局の発表では鉱工業生産指数は120.2%とされています。貿易状況に関しては、名古屋税関発表によると管内5県の9月輸出額は過去最高の1兆3139億円で13.9%増のようです。北米、中国向けの自動車を中心であり更にアジア向けの拡大によるものと言われています。

米国調査会社トムソンファイナンシャルの調査によると日本のM&A件数は世界第二位で、ネット系5社がM&Aで利益を上げているとのことでした。環境省の提唱によるクールビズ・ウォームビズも大手スーパー、デパートの売上げ増に寄与し、名古屋の4M1Tで6月売上げ高が348億円の効果とのようです。最後に、2006年の予測として中日新聞社の全国主要企業アンケートによると96%が“景気拡大・回復”とのことで今年はいよいよ見通しでした。

芸術・文化などの面： 特に女性が目立った年

- 1) 11月、皇室・紀宮様が黒田さんとご結婚
- 2) 日本植物油協会発表、2005年最も輝いた女性NO.1：仲間由紀恵（女優）
- 3) 米国経済誌フォーチュン発表、2005年度版米国外ビジネス最強女性10傑
5位：三洋電機 野中ともよ CEO、10位：ダイエー 林文子 CEO、
- 4) 第20回中日体育賞、フィギュアスケートGP優勝者：浅田真央（名古屋、15歳）
- 5) 女子プロゴルファー：宮里藍・横峰さくら（女子ゴルフW杯）、ミシェル・ウイー（米国）

- 6) テニス界の女王：マリア・シャラポア（ロシア、18歳）
- 7) 衆議院選挙での“女性刺客”・・・
- 8) ドイツ連立政権女性首相誕生：メルケン党首
- 9) 文芸賞（河出書房新社）、“平成マシガン” 史上最年少 三並夏（静岡、中三）
- 10) 第133回芥川賞、東海市市民賞、“土の中の子供”（新潮） 中村文則（東海市、27歳）
- 11) 直木賞、“花まんま”（文芸春秋） 朱川湊人（大阪、42歳）
- 12) ポップカルチャー：原宿・秋葉原、日本 MANGA・アニメが世界のあこがれ
“美少女戦士セーラームーン” 竹内直子（講談社）
- 13) 環境省提唱の省エネ運動：クールビズ&ウォームビズ
- 14) 健康・環境に優しい生活スタイル：“ロハス=LOHAS”・・・1990年米国で流行
- 15) 競馬、無敗三冠王：ディーピンパクト（武豊騎手） 21年振り史上2頭目
- 16) 2005年新語・流行語大賞：クールビズ、小泉劇場、刺客、想定内（外）、ちよいモテオヤジ、フォー・・・（HG）、富裕層、ブログ、ポピーマジック、萌え～、
- 17) 独立行政法人化後の国立大学経営が黒字：1100億円（89大中88大）
- 18) 4月25日、尼崎JR脱線事故（JR西日本）
- 19) 12月、JR東日本、羽越線脱線事故（山形）
- 20) 米国東南部ハリケーン災害：“カトリーナ” “リタ”、“スターン”（メキシコ湾）
- 21) 10月、パキスタン北部大地震災害
- 22) 新潟・長野：度重なる台風・大雨洪水被害・豪雪被害

同窓会の運営：基本的な考え・・・“オープン&コミットメント”

- 1) 大学環境の変化
- 2) 役員・幹事・顧問の新年交歓会（1月）
- 3) スマトラ沖地震津波災害義援金（日本赤十字、3万円）
- 4) 本部同窓会沖縄総会参加（5月）
- 5) 当支部懇親会：ラグーナ蒲郡（6月）、全会員アンケート調査
- 6) 支部会議（1、3、4、7、11月）
- 7) 元副支部長 柴田信男氏葬儀（2月、香典1万円）
- 8) 東海支部会報ホームページ発信

室蘭工業大学同窓会東海支部 支部会則

1. 本会は、室蘭工業大学同窓会東海支部と称する。
2. 本会は、会員相互の親睦をはかり、知識を交換し学術並びに技術の向上をはかり、本部との連絡を密にし母校及び会員の発展に寄与するのを目的とする。
3. 本会は室蘭工業大学同窓会会員で、愛知、岐阜および三重の3県内に在住する会員を以って組織する。
4. 本会の事務局は役員会にて定める。
5. 本会の目的達成のため下記の事業を行なう。
 - (1) 本会は2年を1期とし、期ごとに総会を開く。ただし、役員会が必要と認めたときには臨時総会を開く事ができる。
 - (2) 懇親会は、原則として年1回開催する。但し、総会開催年は、同日開催とする。
 - (3) 本会は2年に1回名簿を発行し、原則として会費を納めた会員に配布する。また役員会が必要と認めた場合には贈呈することができる。
 - (4) その他本会の目的達成のため適時適当な事業を行なう。
6. 本会の事業年度および会計年度は、総会開催年の4月1日より翌々年3月31日までとする。
7. 本会の会員は下記により構成する。支部長1名、副支部長2名、会計監査2名、会計1名幹若干名、及び顧問若干名。猶本部評議員は支部長及び役員・幹事・顧問より選任する。
8. 支部長・副支部長・会計監査は総会において会員中から互選する。会計・幹事並びに顧問は支部会員中より支部長が委嘱する。
9. 支部の役員の任期は2年を原則とし再任を妨げない。
10. 支部長は本会を代表し、支部の会務を統括し、本部との連絡の責に任じ、会議を召集しその議長となる。
 - ・副支部長は支部長を補佐し、支部長が会務に支障あ

るときはこれを代理する。

- ・会計監査は財務を監査し、2年に1回支部総会に報告する。
 - ・評議員は本会則第10条により評議員会に出席する。
 - ・幹事は、本部ならびに会員連絡の中核となり会務を分担する。
11. 本会の経費は、会費・寄付金を以ってこれにあてる。
 12. 会費は、期2,000円とし会員から徴収する。ただし、懇親会費などについては、その都度適宜臨時徴収による。
 13. 本会への寄付金は役員会の決議を以って処理する。
 14. 本会の会計は、総会においてこれを報告する。
 15. 本会則は総会の議決を経なければ変更できない。
 16. 会員は、転居、転任その他の事故にあるときは、速やかに本部並びに支部事務局に通知するものとする。

附則

この会則は、昭和63年3月20日から、施行。改定

- (1) 平成2年7月12日
- (2) 平成4年6月9日
- (3) 平成6年6月6日
- (4) 平成12年6月11日
- (5) 平成14年6月9日